

平成29年度グラウンドワーク三島「講演会」参加者募集！

グラウンドワーク三島25周年の軌跡と 新たなる戦略的アプローチとは

グラウンドワーク三島は、平成4年9月に設立されて以来、本年度で設立25周年目を迎えます。「さらに市民力・地域力を磨き、三島と世界の環境再生と地域再生の発展に貢献」を、新たな活動理念に据え、自由度と創造力にあふれた革新的なNPO活動に引き続き挑戦していきます。そこで、皆様に、本法人が担ってきた先進的な成果について素朴な何故？を投げかけてみます。

- ① 汚れていた源兵衛川がどうして子どもたちが水遊びできる清流に蘇ったのでしょうか？
- ② なぜ三島から消えたミシマバイカモが咲き乱れホタルが乱舞する街になったのでしょうか？
- ③ 三島市は街歩きの観光客が多く空き店舗が少ない街になったのはなぜでしょうか？
- ④ 松毛川や境川・清住緑地の樹林や湧水池をなぜ整備・維持する必要があるのでしょうか？
- ⑤ 台湾や韓国、国内からどうして多くの視察者や研修生が三島に学びに来るのでしょうか？
- ⑥ 英国グラウンドワークのノウハウや社会的企業の運営論の先進性とはなんなのでしょうか？
- ⑦ 三島は今後どんな街づくりを進めると、より賑やかで魅力的な街に発展するのでしょうか？
- ⑧ 今後グラウンドワーク三島が目指す夢と展望、戦略的アプローチとは何なのでしょうか？

この度、本会の25年間の活動の軌跡と新たなる戦略的アプローチをお伝えする「講演会」を、下記のとおり開催いたします。多くの皆様と三島のまちづくりの夢と未来を語り合ひましょう。

記

1. 日時 平成29年6月17日（土）15:30～17:00
2. 場所 三島市民生涯学習センター3階講義室（三島市大宮町1丁目8-38）
3. 講師 渡辺 豊博（グラウンドワーク三島専務理事、都留文科大学特任教授）



1950年生まれ、三島南中学校・沼津東高校卒、中学1年には「狩野川の生態」で日本学生科学賞受賞、2年には富士山を標高ゼロから徒歩で踏破以来88回登頂。昭和48年静岡県庁入庁、平成元年に暗渠化を阻止して源兵衛川の親水公園化事業を計画推進。

「右手にスコップ・左手に缶ビール」を合言葉に三島ゆうすい会・グラウンドワーク三島を大岡信氏や緒明實氏と結成。元気な三島創造を目指して国内外に先駆けて先進的なまちづくり活動を展開。源兵衛川の「世界かんがい施設遺産」登録の先導者。

4. 申込み 不要。直接会場にお越しください。



境川・清住緑地の整備



松毛川（灰塚川）「千年の森」づくり活動の取り組み



NPO法人グラウンドワーク三島 事務局（担当：村上、美和、石岡）

〒411-0857 静岡県三島市芝本町7-11 TEL 055-983-0136 FAX 055-973-0022

Eメール info@gwmishima.jp

URL <http://www.gwmishima.jp/>